

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

平安時代の後半に後三条天皇が即位すると、これまで長く続いた（あ）氏による①摂関政治をやめさせ、天皇を中心とした政治を行いました。後三条天皇は（あ）氏とは関わりのうすい天皇でした。その後、あとを継いだ②白河天皇は子に位をゆずって上皇という立場になり政治を行いました。これを院政といいます。院政では、貴族だけでなく平氏や源氏などの武士も家臣として重く用いられました。さらに、新しく寺社を建てたり、みずから出家して法皇になるなど、仏教を積極的に保護したので、寺社の力も大きくなりました。

しかし、白河上皇の孫の鳥羽上皇が亡くなるころには、院の中でも争いが増えていきました。1156年に起こった（い）の乱では、鳥羽上皇の二人の子が政権をめぐって争い、平氏や源氏が大きな戦力となりました。この乱では、弟の後白河天皇が勝利し、兄の崇徳上皇は讃岐に流されてしまいました。後白河天皇は上皇となり院政を始めましたが、すぐに家臣同士の対立が深まり、1159年には平治の乱が起こります。この戦いでは、特に平氏と源氏の対立が大きく、最後は平清盛が源義朝を破りました。その結果、義朝の子の源頼朝は伊豆へ送られました。また、生まれたばかりの頼朝の弟である源義経は京都の鞍馬寺に預けられました。

一方で、二度の乱で活躍した平清盛は、後白河上皇の院政を助けながら、平氏一族を高い官職につけ、娘を天皇に嫁がせるなどして③大きな力をつけて、朝廷までも思い通りに動かすようになりました。さらに外交にも力を入れ、港を修築して（う）貿易を始めました。しかし、このような平氏のやり方に不満を持つ貴族や寺社が増えていき、平氏への反乱をたくらむ者も出てきました。結局、反乱は事前に見つかり実行されませんでした。清盛は後白河法皇の院政を停止させ圧力をかけました。

こうした動きに対して立ち上がったのが源氏です。伊豆の源頼朝は周辺の武士を集集させ、関東地方を支配しました。そして、合流した弟の義経らは、各地で戦いながら平氏を西へ追いつめ、最後は④壇ノ浦で平氏を滅ぼしました。平氏の中には、海に飛びこむ者もいれば、各地へ逃げ落ちる者などもおり、現在も「平家の落人の里」と呼ばれる場所が多く残されています。このような平氏の様子は、のちに書かれた『（え）』の冒頭にある「たけき者もついには滅びぬ、ひとえに風の前のちに同じ」の文にも表されています。平氏が滅び、院政は再開したものの、次の政権は平氏を滅ぼした源氏が担うことになり、⑤頼朝によって初めての本格的な武家政権である鎌倉幕府が動き始めました。

(1) 文中の（あ）～（え）にあてはまる言葉を答えなさい。

(2) 下線部①について、摂関政治とはどのような政治ですか。説明しなさい。

(3) 下線部②について、なぜ子に位をゆずったのですか。考えられる理由を答えなさい。

(4) 下線部③について、平清盛がこのようにふるまえたのは、彼が武士として初めて、ある官職に任命されたことが理由の一つです。ある官職とは何ですか。

(5) 下線部④について、この場所として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。



(6) 下線部⑤について、この説明として正しくないものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 義経と頼朝はしだいに対立し、頼朝は鎌倉に義経を入れなかった。

イ 源氏は3代しか続かず、その後は執権として足利氏が幕府を動かした。

ウ 政治、裁判などの制度がそろい、新しい法ものちに完成した。

エ 幕府は、家来から反乱を起こされたり、朝廷と戦うこともあった。

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

千葉市は1992年4月1日に政令指定都市に移行し、現在6つの区からなる人口97万人の都市です。全国で20都市ある政令指定都市とのうち、全国で12番目、関東地方では横浜市、川崎市に次ぐ3番目に移行しました。のちに相模原市と（あ）市も政令指定都市に移行しているので、関東地方には5つの政令指定都市があることになります。

千葉市にある6つの区のうち、地図1に示されているのは美浜区と花見川区です。①美浜区はかつて遠浅の海が広がっていた海岸で、干潮時には1kmをこえる干潟が出現する場所でした。1912年には、この干潟を利用して飛行訓練所が建設されました。このことからこの地は民間航空発祥地とされ、稲毛海岸四丁目付近を見ると地図記号から記念碑が建っていることが分かります。しかし、昭和30年代以降の高度経済成長期には大規模な海面の埋め立てが進み、この地区の風景が変化していきます。そして、現在の美浜区にあたる土地ができていきます。つまり、美浜区はもともと海だった場所で、区の範囲は人工的につくられた土地ということになります。その②人工的につくられた土地には幕張新都心と呼ばれる未来型の国際都市を目指した新しい街づくりや海浜ニュータウンの建設が行われました。

花見川区は甘藷（サツマイモ）栽培の発祥地と言われています。京成幕張駅のすぐ近くに県の史跡に指定されている「青木昆陽甘藷試作地」を記念する石碑や昆陽神社があります。青木昆陽は食料としての甘藷（サツマイモ）に注目し栽培を始めました。千葉県の（い）状の土地が栽培に向いていたこともあり、栽培は成功し、普及させることができました。その結果、天明や天保の飢饉でも餓死者が出なかったと伝えられています。現在でも千葉県の甘藷（サツマイモ）生産量は全国の12%を占めており、（う）県、茨城県に次ぐ全国3位となっています。



地図1 二万五千分の1地形図「千葉西部」

(1) 文中の（ あ ）にあてはまる市名を答えなさい。

(2) 文中の（ い ）にあてはまる言葉として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 湿地 イ 山地 ウ 台地 エ 干潟^{がた}

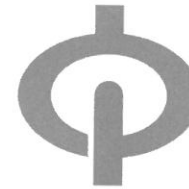
(3) 文中の（ う ）にあてはまる県名として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 青森 イ 新潟 ウ 山梨 エ 鹿児島

(4) 京成幕張^{まくはり}駅と JR 海浜幕張^{きょり}駅まで地図上では 7 cm です。実際の距離は何 m ですか。計算して求めなさい。

(5) 下線部①について、次のア～エの記号は、美浜区^{みはま}、花見川区^{はなみかわ}、中央区、緑区のシンボルマークです。説明文を参考に美浜区のシンボルマークとして正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア



千葉市の中心としてしっかり軸^{じく}をすえ、区民と行政の協働の営みによってゆるぎない地位が保たれる姿を表しています。

イ



海の波をモチーフに、市民の憩^いいの場である美しい水際線と、国際業務都市としての未来への発展を表しています。

ウ



貴重な歴史や文化と豊かな自然をイメージし、未来に向かってたくましく成長し、飛翔^{しょう}・発展することを表しています。

エ



千葉市の花「オオガハス」でも知られ、花・緑・水の自然にあふれ、未来に向けて躍進^{やくしん}する姿を表しています。

《千葉市ホームページより》

(6) 下線部②について、地図 1 から読み取れるこの地域の特徴^{ちよう}としてふさわしくないものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 工場の記号があることから、工業都市としての役割を果たしている。
イ 小中学校や高等学校の記号が多いことから、若い人が多く住んでいる。
ウ 幕張^{はま}の浜や幕張海浜公園^{ひん}など、公園や緑地にも恵^{めぐ}まれている。
エ 海浜幕張駅周辺には大きな建物が多いことから、企業が集まっている。

- (7) 次の2枚の写真の撮影場所として正しいものを、地図1中のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい（両方とも同じ場所から撮影しています）。



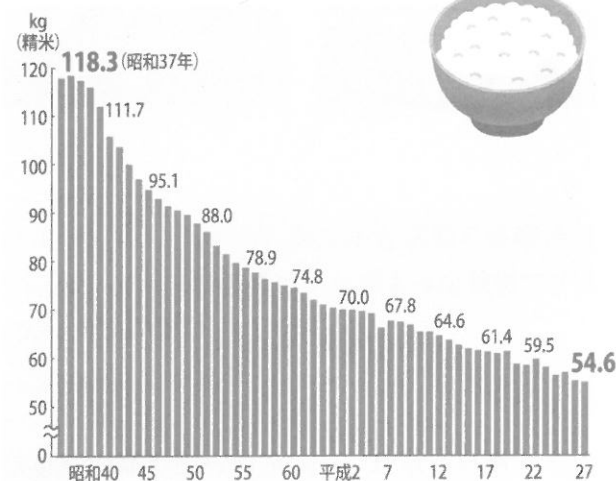
（問題は次ページに続きます）

- (8) 大地震が起きた場合、美浜区の住宅地では東京都の多摩地域では見られない埋め立て地特有の被害が予想されます。どのような被害ですか、その現象を表す言葉とあわせて説明しなさい。
- (9) 千葉県美浜区は東京の都心から約 30 km、鉄道や自動車で1時間程度の場所です。同じような条件の場所に新しい街づくりをする場合、どのような街にするとよいですか。説明しなさい。

3

下のグラフは日本人一人当たりの米の年間消費量（kg）の推移を表したものです。このグラフからも分かる通り、日本の主食ともいえる米の年間消費量は年々減り続け、50年前には1人当たりの年間消費量は100 kgを超えていましたが、近年では60 kg以下となっています。米の年間消費量の減少にはどのような要因が考えられますか。2つ以上考えて答えなさい。

●米の年間1人あたり消費量の推移



出典：農林水産省「食料需給表」
注1：1人1年当たり供給純食料の値である

2019 年度 社会 解答用紙 第1回 (2月1日午前)

多摩大学附属聖ヶ丘中学校

受 験 番 号	氏 名

得 点
*

*印のところは、何も記入しないでください。

1

(1)	あ		い	
	う		え	
(2)				
(3)				
(4)		(5)		(6)

小 計
*

2

(1)		(2)		(3)	
(4)	m	(5)			
(6)		(7)			
(8)					
(9)					

小 計
*

3

小 計
*